

2017. 9. 1

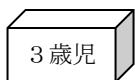
もう忘れてしまったかもしれませんが、8月中はほとんどが雨模様でした。天気はどうすることもできないのですが、もう待てませんと言わんばかりに土の中から出てきたセミさんたちにとっては悲惨なタイミングだったことでしょう。昼間でもどんより暗かったせいで、夜間にも鳴き続けるセミに少し同情すると共に、今年のサツマイモの収穫も子どもたちに迷惑をかけてしまいそうな予感がものすごくしています。

夏季保育中には、バスの中でも今まで自分からはそれほど話をしていなかった子たちが、とても饒舌になっている光景を見ました。夏休み中のどんな出来事が彼らをそうさせたのかには迫れませんでした。夏休みのことでもゲームのことでも夢中になって話してくれるその子たちの口調に、意味や内容のことはよくわからなかったにしても、目を細めて一生懸命聞いてあげたくなりました。園生活においては変化に感じますが、家庭ではいつもの姿なのかもしれませんね。子どもたちの中に垣根がなくなってくるのはよいことです。

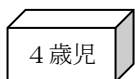
さて、そんな子どもたちをまたひところがり成長させる季節がやってきました。これから運動面での活動や取り組みが増えてきますが、体を動かすことは体力、運動能力の向上はもちろんですが、この時期に体幹をしっかりと作っていくことは同時に「正しい姿勢」や「集中力」、脳が活発に働くことにもつながっています。つまりは園生活における他の分野にも子どもたちの能力に影響を与えていくものなのです。プラスに気持ちの成長、勝ってうれしい負けてくやしい、頑張った、みんなでやった、力を合わせた、息を合わせた、協力したなどの気持ちの部分を実感的に体感する機会でもあるのです。

私たちは、そんな部分を想像しながら、はたまたその過程を想像しながら、こちら目も目を細めて応援していけるといいと思っています。2 学期もよろしくお願い致します。

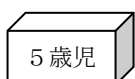
### 今月のねらい（育ってほしい姿や経験してほしいこと）



- ・自分の好きな場所や遊びを通して、保育者や友達とかかわる中で、園生活のリズムを取り戻し、期待をもって登園する
- ・走ったり、跳んだり、転がったり、踊ったりして、思いきり全身を動かして遊ぶ心地よさや、リズムに合わせて表現する楽しさを味わう



- ・クラス全体でまとまってすると楽しい遊びや活動を経験し、実感する
- ・友達とやりとりをしながら、遊びや活動と一緒に進めたり、いろいろな運動あそびを試したり、挑戦したりすることを楽しむ
- ・年長の競技などを見て、自分たちもいずれ・・・と憧れをもてるように



- ・ルールを確認しながら、自分たちで遊べる
- ・友達とともに運動会に向けて取り組みながら、励ましや協力しあう関係をつくる